

3年生 国語の学習の進め方

通知票の見方

○三つの評価の観点、ABCの目安は次の通りです。

A…とても良くできる B…まずまずできる C…一層の努力が必要

①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

②思考力，判断力，表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

③学びに向かう力，人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。

○五段階の評定は、このABCを元に算出します。Aを3点、Bを2点、Cを1点として、合計が9→5、8→4、7・6・5→3、4→2、3→1が基準になります。

1学期の学習

- 詩「春に」○随筆「立ってくる春」○随筆「なぜ物語が必要なのか」
- 話す聞く「一言でまとめ一言から広げる」○小説「私」
- 話す聞く「構成を考えて主張をまとめる」○メディア「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」
- メディア「新聞が伝える情報を考える」○漢字「漢字の広場1 呉音・漢音・唐音」
- 言語「文法の小窓1 助詞のはたらき」○書写（硬筆）
- 論説「AIは哲学できるか」○書く「具体例をもとに説明文を書く」
- 漢字「漢字の広場2 熟字訓」○言語「言葉の小窓1 和語・漢語・外来語」

2学期の学習

- 論説「async ——同期しないこと」○論説「問いかける言葉」
- 書く「説得力のある批評文を書く」○言語「文法の小窓2 助動詞の働き」

- 言語「言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現」○メディア「ニュースで情報を編集する」
- 実用「実用文を読む」○古文「旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』」
- 古文「和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——」
- 漢文「風景と心情——漢詩を味わう——」○読書「最後の一句」
- 漢字「漢字の広場3 異字同訓」○言語「言葉の小窓3 慣用句・ことわざ」
- 俳句「俳句の味わい」○詩「初恋」○小説「故郷」
- 書く「自己PR文を書く」○話す聞く・書く「言葉と社会1 コミュニケーションの場を考える」
- 話す聞く「表現の工夫を評価してスピーチをする」○漢字「漢字の広場4 四字熟語」
- 書き初め（毛筆）○お菓子作文作成

3学期の学習

- 総合(SDGs)「持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える」
- 話す聞く「『対話力』とは何か」○話す聞く・書く「言葉と社会2 自分の意見を述べるとき」
- 話す聞く「意見を共有しながら話し合う」○書く「情報をまとめて作品集を作る」
- 小説「バースデイ・ガール」○評論「青春の歌——無名性の光」
- 詩「やわらかな想い」

3年生であるため、教科書の内容以外にも問題演習等を行う予定です。

令和3年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

| | | | | |
|--------|----|-----|--------------------------------|----------------------------------|
| 学 年 | 3年 | 教科書 | 歴史（新しい歴史）東京書籍 公民（新しい公民）東京書籍 | 歴史・公民資料集（浜島書店） 問題集 歴史・公民（新学社） |
|--------|----|-----|--------------------------------|----------------------------------|

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。3年では、歴史的分野と公民的分野を学習します。
社会科の学習到達目標は、広い視野で社会の様々な事柄を読み取ったり、たくさんの資料を客観的に色々な角度から分析したりして、公正に判断する力を身に付けることです。社会科の学習を通して、自分自身が今まで身に付けた「ものの見方や考え方」を振り返り、これから先の「生き方」や「ものの見方考え方」を再構築していく姿勢が大切です。

2 学習方法

「中学校の社会科は覚えることがいっぱいあっていやだなー」そんな声が聞こえてきそうですが、社会科の学習の目的は、細かいことがらをくり返し反復したり、暗記したりすることではなく、知識を関連づけたり、知識を構造化したりして、物事の本質を追究することです。
このことから、授業は、教卓の上から「教える」という姿勢ではなく、むしろ、各学習課題について皆さんと「いっしょに考えてみよう」という姿勢に立っています。
学習課題、「なぜ・・・だろうか」という視点、に立って追求していきますので、「どのような力を身に付けていくのか」が分かる授業になります。
今まで「何となく思っていたり、感じていたことがら」がおもしろく感じられるようになります。「分かる楽しさ、知る喜び」をみんなで味わいましょう。そして、理解できたことを**自己説明できる**ようになれば、社会科で到達すべき力は相当なものです。

3 教師からのメッセージ

「社会科は、どうせ暗記科目だからテスト前に集中して覚えれば何とかかなる」とか「歴史や地理そのものは好きなんだけど、どうも成績が思ったより低い」、「社会科の勉強はかなり時間をかけているが、点数があまりよくない」という人が結構います。どうしてなのでしょう。そこで、歴史的分野・公民的分野をこれから学習するに当たって、留意しておくことを次に示します。

①自分の理解状態をつかむこと。

学習する時に大切なことは、いつも「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせる。

②学習したことどうしの関係をつかむこと。

学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。

③勉強がおもしろくなってくるような工夫をすること。

テレビのニュース、新聞などにできるだけなじんで、そのような話題を家族と話したりしましょう。社会の動きを知ることは、自分が将来、社会の中で何をしたいかを考える上でとても大切なことです。

4 学習内容及び評価について

評定 5→全ての観点でA評価。

3→C評価が1つまでである。

1→全ての観点でC評価。

4→最低2つ以上の観点でA評価でCがない。

2→いずれかの観点でC以外の評価がある。

ただし、これはあくまでも目安です。

| 月 | 学 習 内 容 | 試 験 | 評 価 観 点 | 評価の場面・方法 | | | |
|----|-----------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|------------------|
| 4 | 日清日露戦争と近代産業 | 中間試験 | 主 体 的 に 取 り 組 む 態 度 | ○課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 | 行動観察 | | |
| 5 | ・第一次世界大戦と日本 | | | ○学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 | ノート・プリント | | |
| 6 | 世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本 戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界 | | | ○学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 | ワーク・プリント 発言観察 | | |
| 7 | 現代社会と私たち | 期末試験 | 主 体 的 に 取 り 組 む 態 度 | ○未到達な内容についてどれだけ努力でたか | ワーク・プリント 発言観察 | | |
| 9 | 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障 | | | 中間試験 | 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 | ○課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 | ノート・プリント 行動観察 |
| 10 | 現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち | | | | | ○課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 | ノート・プリント |
| 11 | 消費生活と市場経済 生産と労働 市場経済の仕組みと金融 | 期末試験 | 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 | ○学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 | ノート・プリント 発言観察 | | |
| 12 | 財政と国民の福祉 これからの経済と社会 | | | ○思考を問う問題を解くことができたか。 | 定期テスト | | |
| 1 | 国際社会の仕組み さまざまな国際問題 | 学年末試験 | 知 識 ・ 技 能 | ○資料の活用方法を身につけることができたか。 | 発言観察・ノート プリント | | |
| 2 | これからの地球社会と日本 | | | ○さまざまな統計・歴史・公民資料や地図などを読みとることができたか。 | 発言観察・ノート プリント | | |
| 3 | より良い社会を目指して | | | ○調査した内容を工夫してまとめることができたか。 | レポート・ノート プリント | | |
| | | | | ○資料を読みとる問題を解くことができたか。 | 定期テスト | | |
| | | | | ○知識・理解を問う問題を解くことができたか。 | 定期テスト 小テスト | | |

5 家庭学習のしかた

ノートを作り、教科書をまとめる。
新聞やニュースを見る。
ワークなどを解く。

朝霞第一中学校 第3学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 小テスト

- ・授業の初めの5分程度で計算問題に取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

② 単元テスト

- ・単元のまとめとして、単元テストを実施します。

③ ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書p.36, 37の参考例(マイノート)も見てください。

④ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞かしましょう。自分の考えが、より深くなります。

2. 提出物について

① ワーク

- ・定期テストごとに集めます。
- ・授業評価に加えます。ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。 粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】

- ・途中式を書くようにしましょう。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙をはさんでも構いません。
(提出するときは、別紙をはさんで提出。)

② テスト直しレポート

- ・定期テストはもちろん全員提出です。単元テストについても提出する場合があります。
- ・テストは何点とれたかも大切ですが、同じ問題が出たときに必ず解けるようにしておくことが重要です。

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点をA,B,Cの3段階で評価します。

A：十分満足できるもの　B：おおむね満足できるもの　C：努力を要するもの

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、自己評価カード、レポート等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A, B, Cで評価しています。

【評定について】

各評価の観点ごとA,B,Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAA→5　AAB→4　BBB→3　BCC→2　CCC→1

【学年評定について】

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価(A・B・C)と評定(5段階)を行います。

【1年間の学習内容】

1章 [多項式] 文字式を使って説明しよう

・多項式と単項式の乗除　・多項式の乗法　・乗法公式　・因数分解　・公式を利用する因数分解　・式の計算の利用

2章 [平方根] 数の世界をさらにひろげよう

・平方根　・根号をふくむ式の乗除　・根号をふくむ式の加減　・根号をふくむ式のいろいろな計算

3章 [2次方程式] 方程式を利用して問題を解決しよう

・2次方程式とその解　・平方根の考えを使った解き方　・2次方程式の解の公式　・因数分解を使った解き方
・いろいろな2次方程式　・2次方程式の利用

4章 [関数 $y=ax^2$] 関数の世界をひろげよう

・関数 $y=ax^2$ 　・関数 $y=ax^2$ のグラフ　・関数 $y=ax^2$ の値の変化　・関数 $y=ax^2$ の利用　・いろいろな関数

5章 [相似な図形] 形に着目して図形の性質を調べよう

・相似な図形　・三角形の相似条件　・相似の利用　・三角形と比　・平行線と比　・相似な図形の相似比と面積比
・相似な立体の表面積の比や体積比

6章 [円] 円の性質をみつけて証明しよう

・円周角の定理　・円周角の定理の逆　・円周角の定理の利用

7章 [三平方の定理] 三平方の定理を活用しよう

・三平方の定理　・三平方の定理の逆　・三平方の定理の利用　・いろいろな問題

8章 [標本調査] 集団全体の傾向を推測しよう

・標本調査　・標本調査の利用

第3学年 教科名 **理 科** の学習について (シラバス)

○**教科の目標**

- ・ 目的意識を持った観察実験を通して、科学的な見かた、考えかたを身につけよう。
- ・ 学習した内容を比較したり関係づけたりすることで、科学的に探究する態度を身につけよう。

○**生徒にがんばってほしいこと**

授業：学力を身につける基本です。積極的な発言を期待しています。

授業ノート：授業で学習した内容が、もれなく記入してあることが大切です。
余白がある場合、授業の感想や、授業で気になったことをメモしましょう。

ワークノート：定期テスト直後に提出します。ワークブックを複数回学習するために活用してください。ワークは、毎日少しずつ計画的に学習を進めていきましょう

実験ノート：授業で行っている実験をまとめるレポートです。自分の力で考察を考えよう。

テスト：日々の学習の成果をしっかりと出せるように、万全の体調で望みましょう。

○**学習内容**

| 1 学期 | 2 学期 | 3 学期 |
|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 理科 1 化学変化とイオン ・ 水溶液とイオン ・ 化学変化と電池 ・ 酸アルカリとイオン | 運動とエネルギー ・ 物体の運動 ・ 力の規則性 ・ エネルギーと仕事 | 科学技術と人間 ・ エネルギーの利用 ・ 科学技術と人間 |
| 理科 2 生命の連続性 ・ 生物の成長と生殖 ・ 遺伝の規則性と遺伝子 | 地球と宇宙 ・ 地球の運動と天体の動き ・ 月と惑星の見え方 ・ 宇宙の広がり | 自然のなかの生物 ・ 生態系 ・ 自然環境の調査 |

○**評価・評定について**

| | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力 | 学びに向かう力 |
|------------|--------|---------------|---------|
| 授業態度 | ◎ | ◎ | ◎ |
| テスト | ◎ | ◎ | ○ |
| ノート・ワークシート | | | ◎ |
| 問題集・ワークノート | | ○ | |
| 実験レポート・考察 | | ○ | |
| 実験技能 | ○ | | |
| 発言 | | | ○ |

評定：評価

5：AAA

4：AAB

3：BBB

2：BCC

1：CCC

評価 A：3点 B2点 C：1点

◎ 3つの観点の合計

評定 5… 9点
 4… 8点
 3… 5点以上
 2… 4点

授業態度や提出物、テストで各観点の評価をしています。上の表は、評価点の多い順に示しています。授業ノートは評価が大きいので特にしっかりと取り組んでください。授業ノートは再提出も受け付けています。自分の取り組みの足りないところがないか、しっかりと見直しをしてください。足りないところがあれば、周りの友達に協力してもらい授業の内容の補足を行って、必ず再提出をしましょう。

| | 関心 | 思考 | 技能 | 知識 | |
|-------|----|----|----|----|-----|
| テスト | 30 | 60 | 45 | 75 | 210 |
| ノート | 40 | | 20 | | 60 |
| 実験ノート | | 8 | 6 | | 14 |
| ワーク | 5 | 5 | | | 10 |
| 発言 | | 2 | 4 | | 6 |
| | 75 | 75 | 75 | 75 | 300 |

授業態度や提出物、テストで成績が決まります。重要度の低いワークやプリントにもしっかりと取り組まなければ、テストでの高得点は望めません。それらの重要度を示しました。重要度の高いノート作りを、一生懸命おこなうと、評価も安定したものになります。ノートは再提出も受け付けているので、自分の取組みの甘いところしっかりと見直し、良いノートをつくってください。

| | 関心 | 思考・表現 | 技能 | 知識 | 合計 |
|-------|----|-------|----|----|-----|
| テスト | 30 | 60 | 45 | 75 | 210 |
| ノート | 40 | | 20 | | 60 |
| 実験ノート | | 5 | 5 | | 10 |
| ワーク | 3 | 7 | | | 10 |
| 発言 | 2 | 3 | | | 5 |
| 実験技能 | | | 5 | | 5 |
| 合計 | 75 | 75 | 75 | 75 | 300 |

3年生 音楽について

◇ 学年目標 【自分の声を完成し、豊かな響きで歌おう】

- ① 音楽活動の楽しさを通して、興味、関心を高め生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽を親しむ態度を身につける。
- ② 音楽の持つ美しさを感じ取り、曲想などを考え表現の仕方を工夫しよう。
- ③ 進んで音楽の学習に取り組み、表現の技能を伸ばし、創造的な表現力を高める。
- ④ いろいろな音楽に興味を持ち、音楽に対する総合的な理解を深め、鑑賞する能力を高める。

◇ 目標達成のために

- ・合唱を積極的に取り組み、豊かな表現力をつけよう。
- ・クラスやグループで音楽の活動をする時は、お互いの良さを認め合い、積極的に協力し活動しよう。
- ・音楽の発表や鑑賞曲を聴くときには、真剣に集中して聴き、音楽のよさを味わおう。

1. 学習内容

- ♪歌唱 混声三部合唱（ソプラノ・アルト・テノールによる構成）の楽曲が中心になります。学年が上がるにつれ、難易度の高い曲にも挑戦していきます。
- ♪器楽 器楽の教科書を中心に、アルトリコーダーの基礎・基本を学習し、美しい音色のリコーダー演奏を目指します。
- ♪鑑賞 音楽の教科書を中心に、音楽史上優れた作品や世界の音楽、日本の伝統的な音楽など幅広いジャンルを鑑賞していきます。

2. 評価について

| 評価の観点 | 十分満足=A | おおむね満足=B | 評価の材料 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がない ・授業に遅れない。 ・精一杯歌い演奏する。 ・積極的意欲的に授業に取り組む。 ・提出物の期日を守る。 ・顕著な内容の感想を書いたり発表できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・やることはやる、基本的な姿勢で臨む。 ・課題に真面目に取り組む。 ・提出物の期日を守る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・忘れ物 ・提出物 ・定期テスト |
| 音楽表現の創意工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲のよさを感じ取り、雰囲気や強弱記号を生かした表現をしようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲のよさを感じ取り、表現しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・歌のテスト ・リコーダーのテスト ・定期テスト |
| 表現の技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・強弱記号などの意味を理解し、表現に生かすことができ | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な記号などの意味を理解し、表現に生かす | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・歌のテスト |

| | | | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | る。 ・パートの役割を理解し、正しい音程で歌い演奏できる。 | ことができる。 ・おおむね正しい音程で歌い演奏できる。 | ・リコーダーのテスト ・定期テスト |
| 鑑賞の能力 | ・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し音楽的知識を積極的に深めようとしている。 ・曲のよさや美しさなどを感じ取り、自分なりの感想を書いたり発表できる。 ・積極的、意欲的に鑑賞できる。 | ・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し、基本的な知識を身につけようとしている。 ・曲についての感想を書くことができる。 ・曲を味わおうと努力している。 | ・日常の取組の様子 ・鑑賞プリント ・定期テスト |

*音楽科ではテストの点数だけでなく**日常の取り組みを重視**しています。

例えば、テストの点数がよくても日常の取り組みが悪ければ高い評価はつけられません。

(授業に取り組む姿勢・精一杯歌い演奏する・パート練習の取り組み方・遅刻、忘れ物をしない等)

テスト・日常の取り組み共に精一杯努力することが大切です。歌がうまい、下手はあまり関係ありません。とにかく一生懸命に授業に参加できることが大切です！

♪授業のルール♪

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 着席チャイム(遅刻厳禁) | 5. 授業中の私語厳禁 |
| 2. 挨拶をして入室・退室 | 6. パート練習など協力する |
| 3. 授業の始まりと終わりの挨拶 | 7. パートリーダーの指示に従う |
| 4. 返事をしっかり | 8. 動作の後は静かに (静かにするまで待ちます…) |

授業の持ち物(全て学校に置いていってOK)

- | | | |
|---------------|----------------|-------------------|
| 1. 教科書(音楽・器楽) | 2. コーラスフェスティバル | 3. ファイル |
| 4. アルトリコーダー | 5. 筆記用具 | *これらすべてをケースに入れて持参 |

♪このクラスで作る音楽は今年1度限りです。全員で良い雰囲気です授業を進めていきましょう。

いつもやる活動は…ストレッチ・発声・校歌(3番のみ)・「夢の世界を」です。

流れを覚えてスムーズに動けるようになりましょう。1年間よろしくお願いします。

令和3年度 美術科シラバス

学校教育目標

- ・ 自ら学ぶ生徒
- ・ 思いやりのある生徒
- ・ 健康につとめる生徒

美術科目目標

- ・ 楽しく美術を主体的に取り組む活動
- ・ 意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとする活動
- ・ 対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・ 作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動

生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

学習内容

| A 表現 | (1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能 | | (2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能 | |
|------|------------------------------|-------|---------------------------------|-------|
| | 描く活動 | つくる活動 | 描く活動 | つくる活動 |
| 第1学年 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2学年 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第3学年 | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | 1年 | 2年 | 3年 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学 期 | 中学校美術の内容を理解し、表現することの楽しさや、素晴らしさを感じ取る。 自分らしい表現について考える。 しっかりと対象を見て描くことを通して本質を見極める目を養う。 | 奥行きや広がり空気感等、様々な感覚を大切にし、平面における立体表現を理解する。 自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマを踏まえ、自分らしさを表すための表現を工夫して制作する。 | テーブルで使うもので実際に使えるものを作る。 鋳物の技法を使った工芸品の要素をもつものを作る。 平面のアイデアから立体に展開し、創造的な感覚や力を養う。 |
| 2 | よさや美しさを発見しようとする気持ちを大切に | 遠近法の描きかたを学習し、一点透視図法を使って | 3年間の学校生活を振り返り、色彩豊かに自由な作品を |

| | | | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 学期 | し、物の見方、感じ方、対象の形、色彩など、特徴をとらえて自分らしく表現する。 アイデアスケッチから作品制作の流れを習慣付け、平面から立体への創造力を養う。 | 自分の部屋をデザインする。 自分らしく色彩豊かに平面構成をする。 | 作る。 自分らしい効果的な方法を用いて表現する。 スクラッチ絵画の特徴を生かして楽しみながら制作する。 |
| 3学期 | 木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫る、着色を施す等の技法を使って作品を自分らしく表現する。 | 版の種類を学習し、ステンシルを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。 | 卒業を控え、長く記念に残るものを作る。 身近なもののデザインに親しみを持つ。 マイオリジナルの缶バッジ製作を通じて自分らしさを表現する。 |

評価の方法

作品、授業の様子、制作活動の観察、作品制作の過程、生徒の活動の様子、
レポート制作、鑑賞プリントの記録

三つの達成目標の関わり

学力——制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。
規律ある態度——授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。

第3学年 保健体育科 学習案内

【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 5割以下⇒C

※観点別の内容について

◆知識及び技能

- ①学習カードの内容やルールを理解度
- ②それぞれの選択種目の技能チェック
- ③授業の観察（ゲームの様子等）
- ④確認テスト

◆思考力, 判断力, 表現力等

- ①体育授業の参加状況（服装等）
- ②学習カードの内容
- ③授業の観察（練習の工夫, 仲間へのアドバイス等）

◆学びに向かう力, 人間性等

- ①体育授業の参加状況（見学, 欠席, 忘れ物）
- ②カードの提出状況と内容
- ③授業の観察（声, 積極性）

※評定は、総合点で算出する。

※例年この流れで行っていますが、新型コロナウイルス対策や県の要請により変更がありえる。

【1学期の学習内容】

| | 1年 | 2年 | 3年 | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|
| 4月～ | ・体づくり運動 ※全学年必修 ・新体力テスト ※全学年必修 ・陸上競技（短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び） ・器械運動（マット運動・跳び箱運動） ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ） | | | 保健 |
| 5月～ | | | | |
| 6月～ | | | | |

【2学期の学習内容】

| | 1年 | 2年 | 3年 | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|
| 9月～ | ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ） ・球技Ⅰ（バレーボール・ハンドボール） ・陸上競技（長距離走） ・球技Ⅱ（ソフトボール） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス） | | | 保健 |
| 10月～ | | | | |
| 11月～ | | | | |
| 12月～ | | | | |

【3学期の学習内容】

| | 1年 | 2年 | 3年 | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------|----|----|----|
| 1月～ | ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス） ・球技Ⅱ（バスケットボール・サッカー） ・体育理論 ※全学年必修 | | | 保健 |
| 2月～ | | | | |
| 3月～ | | | | |

【家庭学習の仕方】

- ストレッチや筋トレ・ジョギング等に自主的に取り組み、体力の向上を図る。
- スポーツをテレビや生で観戦し、関心を高める。

令和3年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

3 学年

◆技術分野、3年生の目標◆

- ・ものづくりなどに関する基礎的知識と技術を習得し、適切に活用する能力と態度を育てる。
- ・コンピュータのしくみについて理解し、ソフトウェアの機能を知り、基本操作ができる。
- ・インターネット等の特徴と利用法を理解し、ソフトウェアの機能を知り基本操作ができる。

【学習内容】

3年間の技術分野の内容は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」で構成されています。

技術科では、一人ひとりに応じた学習ができるように、教材・教具を用意しています。

製図、製作、整備、操作などの実習にそれぞれの特徴を生かした実践的・体験的な学習活動を行います。

◆3年間での学習◆

| | | |
|------|-----------------------------------------------------------------|---------------|
| 1 年生 | ガイダンス 生物育成に関する技術を利用した栽培 情報通信ネットワーク 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 | 合計 3 5 時間 |
| 2 年生 | エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作 | 合計 3 5 時間 |
| 3 年生 | プログラムによる計測・制御デジタル作品の設計・制作 | 合計 1 7 . 5 時間 |

【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、電気、コンピュータなどを取り扱って実習するため、安全に充分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。

また、教科書、学習ノート、指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

【評価の観点・方法・基準】◆技術科では、次の3つの観点で評価をします。

(1) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

3年生では、1年間を通して生活とコンピュータのかかわりを知り、ソフトウェアを活用して技術習得を目指します。また、センサーカーの制作をおこない、走らせるための自分オリジナルのプログラミングを作成させたいと考えています。

☆年間計画☆

| 月 | 章 | 学習内容 | 学習のねらい |
|---------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | ガイダンス | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生での学習を知る ・ 情報活用について ・ センサーカーについて | <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の授業に見通しを持つことができる ・ 必要な情報を集め、編集してプレゼンテーションをすることができる。 ・ 制作に興味を示すことができる |
| 5 6 7 9 | デジタル作品の制作 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 制御をおこなうための作品を制作する。 ・ 製作品の加工 ・ 製作品の組立 ・ 製作品の検査 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 部品の用途を確認できる ・ 取り付け方法を知り、適切に加工することができる。 ・ 最後まで組み立てができる ・ あらかじめ内蔵されたプログラム通りに試運転が出来る。 |
| 10 11 12 1 | プログラムによる計測・制御 | <ul style="list-style-type: none"> ○ プログラムによる計測・制御 ・ 身の回りにある電気製品について自動的に仕事をする例を調べる。 ・ コンピュータを利用した計測、制御の流れを調べる。 ・ 簡単な計測、制御するためのプログラムを作成する。 ・ 作品発表会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動的に仕事をする機能について理解できる ・ 計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理について理解できる。 ・ 設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。 |
| 2 | 情報技術を活用しよう | <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報技術が社会や環境に果たしている役割について調べる。 ○ これからの生活や社会を豊かにするための情報技術の活用方法を考える。 ○ 情報技術を適切に評価、活用するための活動を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報に関する技術の課題を、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討し、適切な解決策を示すことができる。 ・ 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 |

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「主体的に学習に取り組む態度」

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

②「思考・判断・表現」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「知識・技能」

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などを多面的に評価します。

| 時間 | 学習内容 | 学習のねらい |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17.5 時 間 | 家族・家庭と子どもの成長 ○中学生になるまで ・わたしの成長と家族や周囲の人々 | ・家族の一員として、よりよい生活を送ろうという意識を高める。 |
| | ○幼児の生活と遊び ・幼児期とはどんな時代か ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・子どもの成長と家族の役割 ・幼児の遊びと発達 ・幼児の遊びを支える | ・子どもの成長について学び、自分の成長を振り返ることで、今の自分を見つめ直す。 ・これから自分がどのように成長していくのか見通す力を身につける。 ・幼児の心身の発達を理解することができる。 ・幼児の生活に関心を持ち、幼児の生活に役立つ環境作りを工夫して考えることができる。 |
| | ○幼児とのふれ合い ・幼児のおもちゃづくり ・幼児のおやつづくり ・幼児とのふれ合い | ・幼児の遊び道具の製作を通して、遊び道具の役割や遊びを支える環境について考えることができる。 ・幼児の観察を通して幼児と適切にかかわることができる。 |
| | ○これからのわたしと家族 ・中学生と家族とのかかわり | ・家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 |

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

令和3年度 朝霞第一中学校 3学年英語科学習案内 (CAN-DO リスト)

| | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標 | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。 |
| 特色 | 話すこと [やり取り] の活動の軸として、「フリートーク」を毎時間の帯活動として実施する。題材は、教科書の Small Talk のページを活用することとする。 |

①領域ごとの達成目標

単元名の略し方 ▶ Unit …………… U Stage Activity … SA
 Let's Listen … LL Let's Talk …………… LT
 Let's Read …… LR Let's Write ……… LW

| Stage | 聞く | 読む | 話す [やり取り] | 話す [発表] | 書く |
|-------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話であっても、必要な情報や概要を理解することができる。 U1, LL1, LL2, SA1 | クラスメートの経験や、社会的な話題などについて、自分の感想や考えを述べられるように、内容を読み取ることができる。 U3, LW2, SA1, LR1 | 自分やクラスメートの経験などについて、メモなどを活用しながら、たずねたり答えたりすることができる。 U2, SA1 | 自分やクラスメートの経験などについて、メモなどを活用しながら、具体例や感想などを加えて話すことができる。 SA1 | 自分の経験などについて、具体例や感想などを加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 LW1, LW2, SA1 |
| 2 | 海外の文化などの紹介や、社会的な話題についての短いニュースなどを聞いて、概要や要点を理解することができる。 LL4 | 日本や海外の文化、社会的な話題などについて、イラストや写真、図表なども参考にしながら、内容を読み取ることができる。 U4, U5, SA2 | 日本や海外の文化などについて、質問をしたり答えたりしながら、理解を深めていくことができる。 SA2 | 日本や海外の文化などについて、自分で作成したパンフレットなどを活用し、さまざまな情報を加えながら、紹介することができる。 U5, SA2 | 日本や海外の文化などについて、文章構成を意識したまとまりのある文章を書くことができる。 LW3, SA2 |
| 3 | 社会的な話題について、ディスカッションやディベートでの相手の主張を理解することができる。 LT3, SA3 | 社会的な話題についての記事や説明文などを読み、内容を整理しながら要点をとらえることができる。 U6, SA3, LR2, LR3 | 社会的な話題について、自分の願いや賛成・反対の意見を述べながら、話し合うことができる。 U6, LT3, SA3 | 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を発表することができる。 U6, SA3 | 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の願いや意見を書くことができる。 U6, SA3 |
| 学年末 | はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 | 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 (~ 500 語程度) | 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 | 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 | 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 (~ 80 語程度) |

②単元の授業計画

| | | |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 4月 | 授業開き Unit 0 Three Interesting Facts about Languages 学び方コーナー① Unit 1 Sports for Everyone | これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|

| | | |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 | Let's Write 1 有名人への手紙 Let's Listen 1 ディスカッション Unit 2 Haiku in English <u>中間テスト</u> | 気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。 ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。 ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 |
| 6 月 | Let's Talk 1 はじめての出会い Grammar for Communication 1 Learning <i>SCIENCE</i> in English Let's Listen 2 講演 | 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 |
| 7 月 | Unit 3 Animals on the Red List Let's Write 2 記事への意見 <u>期末テスト</u> | 自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 |
| 8 月 ・ 9 月 | Grammar for Communication 2 学び方コーナー② Stage Activity 1 My Activity Report Let's Read 1 A Mother's Lullaby Let's Listen 3 ラジオの災害情報 | これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。 |
| 10 月 | Unit 4 Be Prepared and Work Together Let's Talk 2 町中での手助け Learning <i>CIVICS</i> in English Let's Listen 4 テレビの国際ニュース <u>中間テスト</u> | 標識が何を意味しているかを説明することができる。 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。 |
| 11 月 | Unit 5 A Legacy for Peace Let's Write 3 グラフや表の活用 Grammar for Communication 3 | 人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。 |
| 12 月 | Stage Activity 2 Discover Japan Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー <u>期末テスト</u> | 日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。 人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。 |
| 1 月 | Unit 6 Beyond Borders Let's Talk 3 食品の選択 | 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 |
| 2 月 | Grammar for Communication 4 Let's Listen 6 中学校生活の思い出 Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate <u>学年末テスト</u> | スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。 主張とその理由を明確にしながら、ディベートをすることができる。 |
| 3 月 | Let's Read 2 Power Your Future Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs 学び方コーナー③ | エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 |

③観点別評価規準と評価方法(＊)

| | 聞く | 読む | 話す [やり取り] | 話す [発表] | 書く |
|---------------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能 | 対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動 | 単語や文章を正しく読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動 | 習った単語や知っている単語を使って、相手との会話を成立させようとしている。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動 | 絵や図を用いて簡単な英語で説明することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動 | アルファベットや英単語、英文を書く際のルールを理解し、正しく運用できる。 ＊単語テスト ＊定期テスト ＊授業内での活動 |
| 思考・判断・表現 | 対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動 | 資料や文章を読み取り、それに関する質問に適切に答えることができる。＊定期テスト | 問いかけに対し、適切に応答ができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動 | 課題について、簡単な英語で発表することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動 | 課題について、つながりのある文章を書くことができる。 ＊単元テスト ＊定期テスト |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 相手の話にうなづいたり、相づちを打つなどしながら、積極的に聞こうとする姿勢が見られる。 ＊授業内での活動 | 間違いを恐れず、しっかりと声を出して単語や文章を読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動 | AETやJTEと積極的に会話しようとしている。 ペアやグループでの活動に積極的に参加している。 ＊授業内での活動 | 間違いを恐れず、積極的に発言・発表しようとしている。 ＊授業内での活動 | 授業内で行われた課題に真剣に取り組み、期限を守って提出している。 習ったことを積極的に活用し、たくさん単語や文を書いている。 ＊ワークシート ＊提出物 |

観点別評価の評価規準

A : 85～100%達成(十分満足できると判断されるもの)

B : 50～84%達成(ほぼ満足できると判断されるもの)

C : 49%以下(努力を要すると判断されるもの)

＊達成率は、目安です。テストの平均点や問題のバランスにより多少変化します。

観点別評価と評定の対応関係 各4つの観点の合計から評定を算出します。

《評価の例》 Aを3点、Bを2点、Cを1点に換算する

AAA (9点) → 5 ＊達成度90%程度

AAB (8点) → 4 ＊達成度80%程度

ABB, BBB, BBC (7・6・5点) → 3 ＊達成度50%程度

BCC (4点) → 2 ＊達成度40%程度

CCC (3点) → 1 ＊達成度20%程度

④家庭学習のしかた

《聞く》

・単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。

①音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみる と、慣れてきたら方法を変えてみよう。
同じものを覚えるまで繰り返し聞いてみよう。

《読む》

- ・音読は、正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら、たくさん口を動かして、身体に英語をしみこませよう。

《話す》

- ・英語の勉強は真似をするところから。授業で覚えた英文を、先生の真似をしながら口に出してみよう。
- ・AETの先生に積極的に話しかけてみよう。

《書く》

- ・正しいスペルを覚えるには、口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら、家庭学習ノートに書いてみよう。その時に、青いペンを使うと集中力が増すとされています。見本を見なくても書けるようになるまで、繰り返し練習しよう。

⑤使用教材

- ①教科書（東京書籍 NEW HORIZON English Course 1）
- ②ファイル
- ③ワーク

